

2017年10月16日

お客様各位

パナソニック ソリューションテクノロジー株式会社

## 「CrossLead」CIFS機能についての重要なお知らせ

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素はご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、Microsoft社より「Windows10 Enterprise, Window10 Education, Windows Server2016の次期バージョン(version 1709)において、SMBv1プロトコルを標準でインストールしない」と発表されました。

この発表内容により、現在ご利用いただいております、弊社コンテンツ管理システム「CrossLead」の一部機能に影響があることが判明しました。詳細について下記に説明いたします。

今後も弊社製品をご愛顧賜りますようよろしくお願い申し上げます。

敬具

### 記

#### 1. 対象製品

- ・コンテンツ管理システム「CrossLead」 version 2.X
- ・コンテンツ管理システム「CrossLead」 version 3.X

#### 2. 対象となるOS

- ・Windows10 Enterprise version 1709以降
- ・Windows10 Education version 1709以降
- ・Windows Server2016 version 1709以降

上記、バージョンのOSから、標準でSMBv1がインストールされなくなります。

#### 3. 影響について

SMBv1がインストールされていない場合、コンテンツ管理システム「CrossLead」のファイルエクスプローラー連携「CIFS」機能が利用できなくなります。

手動でSMBv1をインストールいただければ、引き続き「CIFS」機能をご利用いただけます。

対象バージョンのOSを新規にインストールする際にはご注意くださいようお願いいたします。

#### 4. 今後の対応について

今後の対応を現在弊社内で検討中です。対応が決まり次第連絡いたします。

#### 5. お問い合わせについて

本件に関するお問い合わせについては、次の担当者にご連絡ください。

ソフトウェア開発部

E-Mail: crosslead-tech@pstc.jp.panasonic.com

以上